

ネットリテラシー

特集

大丈夫?

あなたの



誰もが簡単にインターネット(以下ネット)にアクセスできる現代。

ネットは使い方しだいで場所や時間を問わず、多くの人と交流し世界を広げられる一方で、匿名性を利用した誹謗中傷など思わぬ事件に巻き込まれてしまうリスクもあります。

正しくネットを活用するため、今回の特集ではSNSを中心に正しい使い方や危険性について紹介します。



誹謗中傷の例

名誉毀損

Aは会社でセクハラするクズ野郎らしいよ。

侮辱

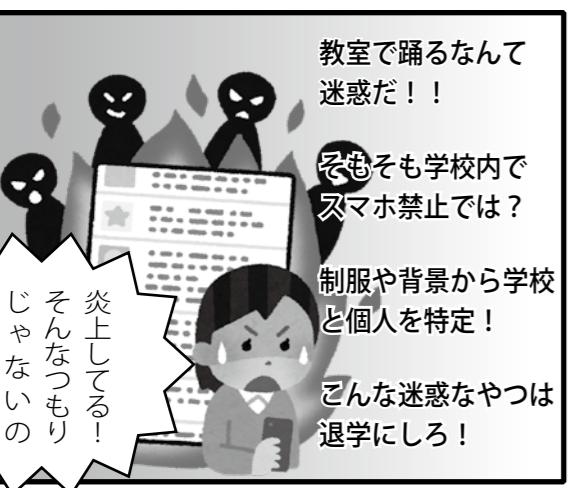
Aは本当にバカなやつだよな。

誹謗中傷とは、相手の悪口を言ったり、根拠のないそを言つたりして他人の名前を傷つけることです。匿名だからといってSNSで誹謗中傷を行うと、開示請求され、刑事罰が科される可能性があります。

誹謗中傷とは何か

誹謗中傷とは、相手の悪口を言つたり、根拠のないそを言つたりして他人の名前を傷つけることです。匿名だからといってSNSで誹謗中傷を行うと、開示請求され、刑事罰が科される可能性があります。

こんな使い方してない? 危険なSNSの使い方



情報拡散

身内に向けて投稿したはずなのに…

SNSで、友人などの親しい人にしか公開されない設定で投稿したはずのものが、気付かない間に誰かがスクショ、リーンショットなどをして公開アカウントで拡散されることもあります。

信用している人しかフォロー許可をしていないといつても、非常識な投稿をしてしまったのは、自分自身にとって大きなリスクとなります。

そして、一度広まってしまった情報が、一度広まってしまった情報によっては、デジタルタトゥーとして残るため消えることはありません。その投稿を元に個人情報が特定されてしまい、本人大けではなく、家族や友人にも迷惑がかかります。場合によっては、多額の損害賠償を請求されることもあり、たつた1回の投稿で人生を棒に振る可能性すらあるのです。

SNSに投稿する際は、内容が不特定多数の人々が見ることを前提に、適切なものであるかどうか確認するのも、本の損害賠償を請求されることもあり、たつた1回の投稿で人生を棒に振る可能性すらあるのです。

もちろんのこと、鍵付きアカウントだからといって、その場のノリで不適切な内容を投稿しないことが大切です。また、相手の同意なしに投稿を別の場所に掲載する無断転載は犯罪です。

誹謗中傷

こんな使い方してない? 危険なSNSの使い方

情報拡散

特集

あなたの

大丈夫?

誰もが簡単にインターネット(以下ネット)にアクセスできる現代。

ネットは使い方しだいで場所や時間を問わず、多くの人と交流し世界を広げられる一方で、匿名性を利用した誹謗中傷など思わぬ事件に巻き込まれてしまうリスクもあります。

正しくネットを活用するため、今回の特集ではSNSを中心に正しい使い方や危険性について紹介します。

Instagram

画像・動画、ストーリーズやリール(短い動画)など多くの形式で投稿できる。

写真の背景や映り込みなどから、個人の顔や場所などが特定される危険性がある。

BeReal

「ありのままの瞬間」をリアルタイムで共有するSNS。1日1回ランダムな時間に通知が届き、その通知から2分以内にフロントカメラ・バックカメラで撮影したものを加工なしで投稿する。多くのユーザーが10代から20代。

画像加工できないため、意図しない他者の映り込みや、公共の場でのマナー違反などがある。また、位置情報が共有されるおそれがある。

X

旧Twitter。短文や画像、動画などを共有でき、つぶやくように簡単に投稿できる。拡散力が高い。

拡散力が高いため、誤情報の拡散や炎上、不快な投稿への接触がある。

LINE

知り合いとの連絡などに使用される無料のコミュニケーションツール。

投資詐欺や闇バイト、情報商材詐欺などLINEを悪用した詐欺が発生している。

TikTok

短い動画を撮影、編集し、投稿するSNS。「おすすめ」機能によって、フォロワー以外が投稿を見る機会があるため、フォロワーが少なくてバズる可能性があるなど、拡散力が高い。若年層に人気。

保存機能があるため、動画を保存し別のSNSに無断で投稿され、投稿者の意図しないところで拡散されるおそれがある。

SNS

「ソーシャルネットワーキングサービス」の略。ネット上で人とつながり、情報共有するためのサービス全般。

炎上

ウェブ上の特定の対象に対し、批判が殺到し收まりがつかなさそうな状態。

バズる

ネット上に一度でも公開されたものは、削除しようとも半永久的に残り続ける現象。

鍵付きアカウント

通称「鍵アカ」。非公開状態にしているSNSのアカウントのこと。

デジタルタトゥー

ネット上に一度でも公開されたものは、削除しようとも半永久的に残り続ける現象。

ネットでの被害に遭わないとために

投資・口マンス詐欺

SNSで「こんなに簡単に1億円手に入れました。方法を知りたい方は連絡ください」といった明らかに怪しい投稿や広告を目にしたことがある人もいるのではないかでしょうか。SNS上でお金の話をされたら、まずは疑うことが大切です。SNSやマッチングアプリなどで知り合った人から、会ったこともないのに「会いに行くための交通費を送つて」「2人の将来のため」と甘い言葉とともに金銭を要求されたり、投資を勧められたりしても、お金を振り込む前に家族や警察に相談しましょう。



地域おこし協力隊
本田 陽一さん



TakikawaVerse
(メタバース)



使い方一つで広がる世界

ネットが使えることで生まれるメリット

ここまで、ネットを活用するうえでの注意点についてお話ししてきました。では、ネットのメリットはどのようなものがあるのでしょうか。今回は、子どもの居場所づくりに、メタバース（ネット上の仮想空間）の活用にも取り組む地域おこし協力隊の本田陽一さんにお話を伺いました。

ネットの普及により、住んでいる場所や年齢、国境を越えてオンライン上で簡単に集まることができるようになりました。これがメリットだと感じます。オンライン上ではイベントを開催することもでき、例えば、滝川市のイベントをメタバースなどを活用し、オンライン上で開催すると、足を運ぶのは大変という方も、自宅にいながら参加することができます。そういう方たちとつながったり、交流したりすることができるのもメリットだと思います。

ネットを活用することでの変わった生活

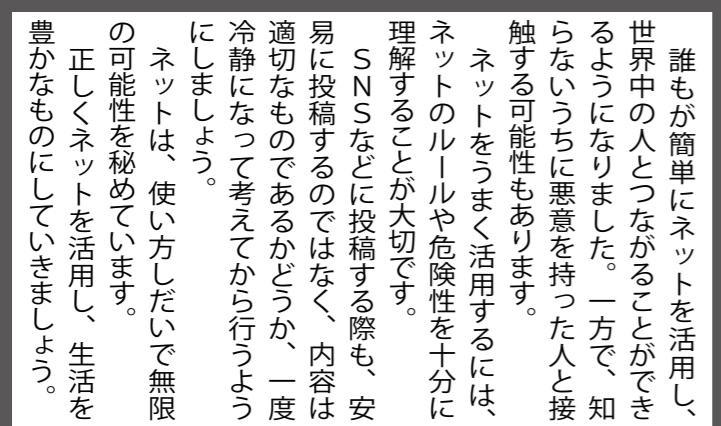
ネットを活用することでき、大きく変わったと思うことが2つあります。

1つ目は「仲間ができるスピード」です。実際には距離が離れている方と知り合う機会は多くはないと思いますが、ネットを活用することで、場所に関係なく出会うことができます。そのスピード感はオンラインならではだと思います。2つ目は「挑戦できる範囲が広がった」ことです。ネットは、多くの情報を手に入ることができます。今まで未知だった世界を知ることができます。それが自分に合つて趣味や仕事にすることができます。

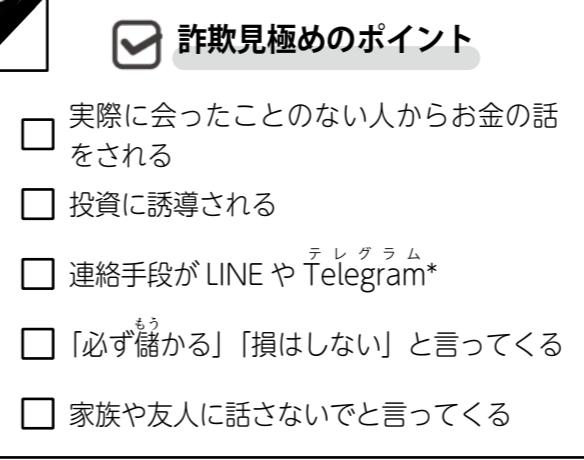
これからネットを活用する人へ

ネットは、個人情報の流出やお金についてのトラブルのほか、誹謗中傷についても注意が必要です。トラブルを回避するために、ネットでもルールやマナーをしっかりと守っていくことが大切です。ネットは包丁と一緒に、正しい使い方をすれば自分にとってメリットのあるものですが、使い方を間違えると人に危害を加えたり、自分が被害を受けたりすることもあります。一度立ち止まって、家族や友達など信頼できる人に相談してアドバイスをもらおう

ようにしましょう。



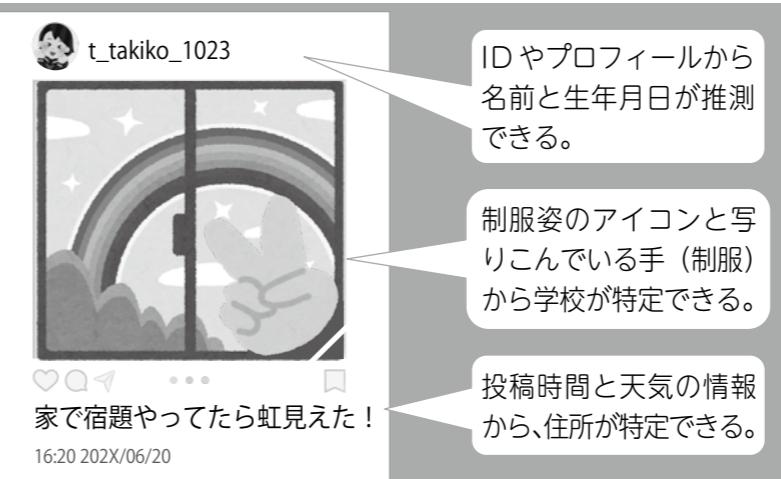
ATOGAKI



詐欺見極めのポイント

- 実際に会ったことのない人からお金の話をされる
- 投資に誘導される
- 連絡手段がLINEやTelegram*
- 「必ず儲かる」「損はしない」と言ってくる
- 家族や友人に話さないでと言ってくる

*匿名性の高いメッセージアプリ



IDやプロフィールから名前と生年月日が推測できる。

制服姿のアイコンと写りこんでいる手（制服）から学校が特定できる。

投稿時間と天気の情報から、住所が特定できる。

個人情報とは、個人の氏名、生年月日、住所、顔写真など特定の個人を識別できる情報のことです。実は個人情報は、SNSの投稿から簡単に分かることもあります。個人情報が流出すると、アカウントの乗っ取りや、金銭被害、ストーカー被害に発展するおそれがあります。

個人情報流出

滝川市での取り組み

子どもたちはどれくらいネットに接しているのでしょうか。令和7年、市内の小学3年生から中学生までを対象に行った「インターネット利用に関する意識調査」では、回答のあった小学生では50%以上、中学生で70%以上がスマートフォンを所持していました。幼いころから身近にネットがあるなか、正しくネットを活用するために正しい知識を身につける必要があります。滝川市では、市内の小学校で市教育委員会の職員を講師にスマート教室を、中学校では、市と連携協定を結んでいる企業が情報モラル教室を行っています。

スマート教室で講師を務める社会教育課 矢島 依里さん

ネットはとても便利で楽しいものですが、興味があるニュースを読んだり、気になるワードを検索したり、使えば使うほど、個人の趣味嗜好に合った情報・報道・コメントが目立つようにカスタマイズされていきます。目にした情報だけをうのみにせず、多角的に確認することが重要です。そして日々進化するSNSについてですが、周りに似たような考えの人ばかりが集まる「エコチェンバー」や、自分の好みや見たい情報以外がはじかれる「フィルターバブル」という現象が生じ、判断が偏る可能性があることをしっかり理解する必要があります。未成年のSNSでのトラブルが大変増えています。ネットで起こったトラブルは人生経験が浅い子どもたちにとって人生最大のピンチで、命に関わる問題になることもあります。子どもたちの異変を察知し、相談してもらう環境作りが大切です。